

府連版 NO. 484

543-0014 天王寺区玉造元町 6-9
日本ベトナム友好協会大阪府連合会
TEL&FAX=06-6768-4868
URL=http://nhatvietosaka.jp



日本ベトナム友好協会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-17-10
電話03-3945-8543 FAX 03-3945-9072
Eメール nihon-vietnam@cream.plala.or.jp
振替 00110-0-34498
定価 500円（協力会費）



『ダナンのマードラゴン』 堂本泰郎氏 作

《当面の行事》

4月29日（木・休）解放記念講演会（於 ドーンセンター）

5月7日（金）5月度拡大常任理事会（於 オンライン）

16日（日）第66回全国総会（於 京都市内）

新しい情勢に 見合った活動を！

＝第 52 回大阪府連総会開く＝

日本ベトナム友好協会大阪府連の第 52 回総会がドーンセンターで 3 月 14 日（日）に開催されました。

会場には毎月の府連機関紙表紙を飾る絵画のファイルを提供



＝堂本さんと大きな絵画＝

きて壁面に飾って下さり総会に花を添えてもらいました。やはり本物は迫力があります。

定刻の 1 時半に尼子副理事長の司会で総会が始まりました。議長に古崎さんを推薦して拍手で確認し、議事に入りました。最初に梅田会長が「去年はコロナ禍の中だったが杉原剛さんを偲ぶ会ができた、これからはベトナムの人に何ができるか、今こそ力を発揮する時だ」と挨拶。続いて

在大阪ベトナム総領事館に今年の 2 月に着任したグエン・ホン・ハー総領事から「今日の総会が着任



＝グエン・ホン・ハー総領事＝

後の初めてのイベントです。友好協会が積極的な貢献をしてきたこと、ベトナム解放戦争やベトナムとの友好関係促進への貢献は忘れません。総領事館とともに、コロナ収束後に様々な形で文化、友好、民間交流の強化のために活動を行って頂きたい」との来賓挨拶がありまし

ルを提供してもらっている堂本さんが大きな「50 号の絵」を 2 枚とたくさん

のコピーを持って



＝記念品を受け取り披露する二人＝

が受け取りました。梅の花は春のシンボルの花だそうです。またバンメトートのコーヒーもいただきました。日程の都合で総領事がすぐに退出されるとのこと、出席者全員で記念撮影をしたところで休憩になりました。



＝総領事を囲んでの記念撮影＝

退出した総領事を見送って戻ってきた梅田会長と桃木理事長が着席して議事が再開され、来賓の挨拶が続き



＝挨拶する山根本部理事長＝

ました。兵庫県連の理事長でもある山根本部理事長からは「協会はジェンダー平等の先頭を切っている、女性の参加が必要、大阪はいろんなアイデアを提供してきたので期待している」との挨拶、鉄道支部の京円会長からは「この 1 年あまり出番がなかったが、できること



＝京円鉄道支部会長＝

からやっっていこうと思う」との挨拶がありました。また、

た。そして総領事から府連総会への記念品として額に入った工芸品「ホアマイ（＝梅の花）」の贈呈があり、梅田会長

ました。兵庫県連の理事長でもある山根本部理事長からは「協会はジェンダー平等の先頭を

切っている、女性

日本共産党大阪府委員会からも来賓として福井さんが来られているとの紹介がありました。さらに、総会へ寄せられた。友好協会本部、京都支部、日本共産党の大阪選出衆参議院現・前議員、大阪アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会、日本コリア協会からのメッセージが披露されました。

議題の討議は桃木理事長からの情勢報告で始まりました。

ベトナムはコロナ対策では世界一で見習わなければならない、日本は先進国から滑り落ちている、これ



からは「助ける」から「協力する」関係になる、ベトナムは3%の成長だ、古いやり方は通らない、新しい知恵は若者には限らない、という指摘がありました。前総会以降の活動報告は今西副理事長が行いました。今期はコロナ感染拡大で府連の活動は困難を極めているが、会議や安川氏の講演会を ZOOM で開くなど工夫してきた、杉原さんを偲ぶ会は 43 名の参加で実施できた、毎号の表紙を飾っている絵画を描いている堂本さんのおかげで府連の機関紙が毎月発行できてきたとお礼の気持ちを伝え、堂本さんを紹介しました。

会計報告は山本事務局長が行いました。15 名の新入会員を迎えたが活動は停止状況、ベトナム語講座も減収、3 年以上の会費滞納者が 10 名いて多額の未納金となっている、現在は現金が手元にない状況とのこと、



＝会計報告の山本事務局長＝

上岡常任理事から「決算では「次期繰越剰余金」という項目が約 100 万円となっているが、財政が厳しいという説明と合わない、これはなぜか」という質問があり、「決算は 12 月末になっている、2021 年に入ってから出費があった、また会計処理の方法を変えたことも影響してい

る」との補足があり、和気監事からも監査報告書の中で、適正に処理されていることの確認の上で、「なお、財



＝監査報告の和気監事＝

務諸表の処理については一考を要するものと思われます」との但し書きがつけられていて、具体的にどうするかは会計と一緒に検討するとの追加がありました。

活動方針の提案は、その大部分を尼子副理事長が行いました。サッと流すということで、手短に、環境問題が注目されている、府連の活動でも環境にやさしい物を使



＝報告中の尼子副理事長＝

う努力をする、親善友好ではベトナムと日本の習慣の違いを理解することが大事、ホームページは絶対に

やらないといけない等まとめられました。続いて、留学生や技能実習生に関しては中峯副理事長から、府連が相談窓口になるのなら人的資源が抑えられる、ホームページや SNS を活用してやっていくとの方向が話されました。



＝提案中の中峯副理事長＝

最後に予算案の説明が山本事務局長からあり、提案が終了しました。

討論では、上岡常任理事が日本語研修生を教えている中での経験が語られ、ZOOM で参加した川村常任理事からベトナム語授業の連絡をするホームページの予算はどれくらいか、若手の理事が更新していったらいい、との発言がありました。

総会へ提案された報告、方針、会計について議長から確認が求められ、会場の拍手で承認されました。

最後に、次期役員について山本事務局長から 21 年度の役員を推薦するとの提案があり、承認されました。

(報告：今西保雄)

※ 議長を務めた古崎さんから感想が届きました。

第 52 回府連総会

を終えて

古崎 勉

理事会から要請されて総会議長を務めました。初めて

の議長で慣れないため、不手際もあったと思いますが、参加者の協力のもと、無事に議事を終了できたこと



＝議長席の古崎さん（右側）＝

はうれしい限りです。その上で、感じた点について述べます。

【参加者層】

・年配者が大半で若者や女性が少なく、組織の高齢化克服は平和友好組織に共通した課題

【質疑・答弁】

・活発な討論を期待していたが、意外に質問や意見が少なかった。そんななか、若手弁護士や ZOOM 参加の若者から発言があった

・今後、活動の総括や方針について率直な討論を期待したいとともに、各行事の参加体験など誰でも気軽に発言できる工夫を

【会員拡大】

・現在の府連会員の人数は報告では 140 人、過去 1 年間の新入会員は 15 人で、大半はベトナム語講座の参加者

【コロナ禍での在日ベトナム人支援】

・梅田会長の「府連として何ができるかを集团的に討議し、速やかに行動に移す必要がある」という指摘を各自が受け止めるべき

21 年度役員名簿

顧問 田丸 信堯

顧問 橋本 敦

会長 梅田 章二

副会長 小豆島 正典

副会長 上田 義朗

理事長 桃木 至朗

副理事長 中峯 将文

副理事長 尼子 健二

副理事長 今西 保雄

事務局長 山本 作治郎

常任理事 川村 敦

上岡 眞 大槻 雅彦

萩原 博子 石濱 好一郎

清水 康行 田所 三佳

Vo Thi Duc Hanh (岡田 ハン)

理事 TO THI THUY NGA

THIEN KIM TA 長島 弘昌

森田 和彦

監事 和氣 清実

※ 事務所にはいろいろな資料が届きます。その紹介を田丸青実さんをお願いしました（編集部）。

ベトナムの小説を読む

世界が真っ二つに分かれて、ベトナム戦争に取り組んでいた頃、わたしはフランス旅行に出かけた。機はサイゴン空港に立ち寄り、鐵柵から見える基地の戦闘機はすぐ攻撃に出るためかエンジン音を立ててプロペラが回っていた。南回りの割安チケットであったのでこんな奇遇もあってノンポリ女子社員三人は疲れ果て真夜中パリに着いた。

観光客のいない閑散としたパリのカフェでベトナム人男性に手招きされた。1970年頃は両国はまだ漢字で筆談ができた。今のベトナム人は漢字も以前の宗主国のフランス語も勉強しなくてもよい。何事もアメリカ大事の今の日本は英語で苦しめられている。独立国はいいナ。

さて本題はベトナム小説の感動的感想文である。いつかは読めるであろうと思っていたが、生きている間、間に合った。ジンバブエの社会主義政府の期待と失敗をアメリカ亡命者の若い女性が書いた小説は読んだ。がベトナム小説はまだだった。

作者はグエン・ニャット・アイン。巻末の作家年譜に、ドイモイ後ホーチミン市を拠点に数々のベストセラーを出してきた著名な作家とある。

本文350ページ余に二つの作品が収められている。

前半は「幼い頃に戻る切符をください」（2008年発表）。伊藤宏美訳。

それは子ども時代の遊びを詳しく書いた小説であった、私たち応援するだけの部外者が知りたいことは子どもじゃない、今の大人のことなのだ。八歳児のおままと遊びから読み取れるガキ仲間の平凡で幸せな家庭は少々家父長的な父母がいて古めかしい。八歳から四十歳まで一足飛びで、ベトナムが抱えていた戦争の影はどこにもない、地下鉄工事も近代高層ビル建設も出てこない。世界がグローバル化して同化して行く過程もない。しかし注意深く読めば、子どもの遊びにちらつく想像力豊かな知恵は戦争を潜り抜けてきた大人そのものにも負けない。これから覆いかぶさってくる新たな困難をも、彼らの子ども時代に校長先生や先生の反撃を乗り越えてきたような自由な発想で乗り越えて行くことであ

ろう。

もう一つの小説「菊の花に別れを告げて」（1995年発表）。加藤栄訳。

十六歳の少年が間近かに見た、年上の女の一生である。モーパッサンの「女の一生」はどうしても好きになれない私にとって、さすが、これがベトナムかと納得させられる展開だった。子どもであるガキ大将の世界と大人の世界にはさまれて、揺れ動く思春期の少年をえがいている。こんなに丁寧に書かれた思春期小説は身近にいる思春期クン（孫）にもぜひ読ませたい。

世界で唯一生き残った社会主義国の子どもの心の動きは同じである。でも日本の青少年と違う悩みも沢山あるであろう。

ベトナムの悩みをどんどん描いてください、続編（翻訳）を楽しみに待ってます。（田丸青実）

著者略歴

グエン・ニャット・アイン (Nguyễn Nhật Ánh)

1955年ベトナム中南部クアンナム省に生まれる。1973年、サイゴン師範大学進学のためサイゴン（現ホーチミン市）へ移り住む。大学卒業後、ホーチミン市青年突撃隊に参加。1980年代後半に文壇デビュー。それまでベトナムでは描かれることのなかった思春期の少年少女の心情にスポットを当て、若者のみならず多くの読者の心をつかんだ。彼の人気に火をつけた最初の作品は『万華鏡』シリーズ（1995～2010、全54巻）で、累計売上部数は100万部を突破。その後も『ランビアン地方の話』（2003～2006）、『僕の名はベト』（2007）、『草原に黄色い花を見つける』（2010、カナリアコミュニケーションズより邦訳書出版、2015年映画化）とヒットを飛ばし続け、ベトナムでもっとも読まれている作家の一人となっている。本書に収録された『幼い頃に戻る切符をください』は2010年にアセアン文学賞を受賞し、タイ語、韓国語、英語に翻訳出版されている。

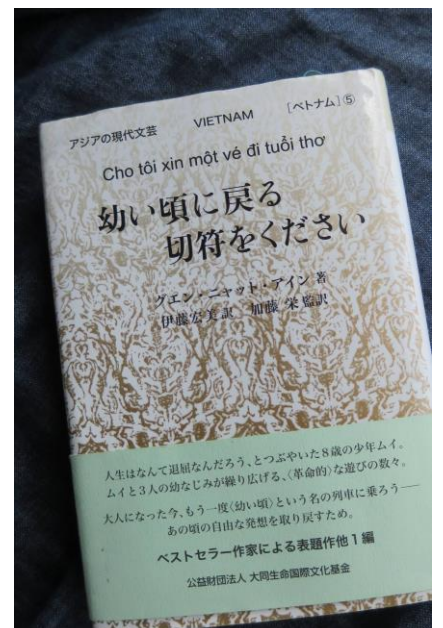


※ 書名＜幼い頃に戻る切符をください＞

発行：公益財団法人・大同生命国際文化基金

※ 発行日 2020年8月7日 アジアの現代文芸シリーズ [ベトナム] ⑤

※ 大阪府連事務局で貸し出します。府連に寄贈された本です。定価が書かれてないので、書店での流通はないのかもしれませんが。



わらび座再訪

1973年暮れのベトナム訪問の仲間3人と山本そして尼子副理事長で、3月17日から20日まで、秋田県のわらび座を訪れました。なぜこの時期かというとうと4人のうちの一人Iさんが、福島県から兵庫県丹波市に4月引越してくる。彼との思い出作りといったところで、かつて全国総会が行われたわらび座を訪問しようということになりました。わらび座にはT



＝雪の中のわらび座劇場＝

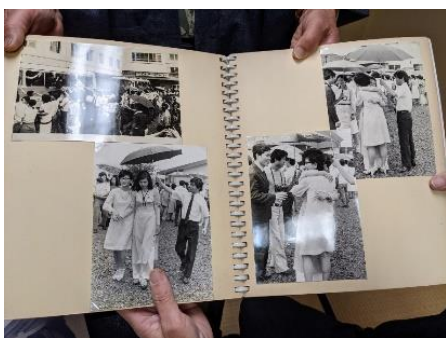


＝わらび座にて＝

さんやHさんのお知り合いが座員(そのうちお1人は小豆島副会長と大学で同期だったそうです)としており、その再会と

さら、秘湯で有名な乳頭温泉に。そして、ちょうど東日本大地震の10年目、地震の復興ぶりをIさんに案内してもらおうことになりました。

わらび座は、府連としては豊中の宿泊所での学習会が思い出されます。現在は廃止になっています。



＝訪問団の思い出写真＝

コロナ禍で、公演もままならず、活動は大変な様子でした。今年4月から公演の再開を予定されていますが、またぞろどうなるかです。この間、全国からの支援があり、1億円集まっているそうですが、わらび座のような文芸、芸能活動には公的な支援はありません。全国の芸能が消えてしまわないよう頑張ってくださいと思います。またベトナムが解放、統一される前ベトナムで公演され、ベトナム政府からはわが協会と同時に表彰されたことを思い

出し、またベトナムでの公演ができるよう頑張りたいなあとお話ししました。

(文 山本)



＝乳頭温泉・鶴の湯＝

▽△▽△▽△▽△▽△▽△▽△▽△▽△▽△▽△▽△▽△

＝クラインガルテンから＝

雨とコロナを気にしながらの

タケノコ掘りと餅つき

昨年に続きコロナ禍の最中のタケノコ掘りを実施しました。参加者は会員としては、尼子、清水、吉田、山本。そして吉田さんのご子息と友人の内田さん。畑のメンバーが6人。それぞれが分散的に行動しました。交流にはならなかったかな。



タケノコは昨年より豊作。湯がくのも3釜で行いました。一貫して火の番を尼子さんが。若い内田さんは掘りにくいたけのこまで見事に掘ってくれました。吉田さんの息子翔治君も見ごとに掘り起こしました。湯がいたたけのこはみんな持ち帰りました。

湯がいている間に餅つきをしました。ここでも翔治君は、杵を持ち上げていました。「御飯が餅になる」のを見てしっかり丸めて、食べていました。テトにいただいたバイチュンも鉄板で炒めて食べてもらうことができました。



朝から雨の予報でしたが、何とかぬれずに終えることができました。【報告 山本】

東日本大震災

から 10 年

三陸海岸を訪ねて

3月17日から21日まで、47年前に、初めてのベトナム友好旅行団に参加した山本さんと友人3人、尼子で秋田県角館の「わらび座」を訪問しました。

その後、まだ雪の消えない田沢湖の「乳頭温泉郷」でのんびり温泉に浸かり翌日は盛岡から宮古へと向かいました。



＝たろう観光ホテル＝

宮古市では甚大な津波の被害を風化させず後世に伝える津波遺構「たろう観光ホテル」を見学、高さ17mの津波で4階まで浸水し2階までは柱を残して流失しましたが、倒壊することなく、現在の姿で留まっていました。

次に、中の浜にある「震災メモリアルパーク」の「展望の丘」へ上りました。

この丘は公園の中心にあり、大型トラック2,800台分の震災ガレキ由来の再生資材を使って作られ、13mの高さがある丘



＝震災遺構＝

の上に立って海を眺めるとちょうど目線が津波の高さとなるよう設計されています。展望の丘から見える斜面には津波の高さを示すサイン板が設置され、そこを駆け上がった津波の威力と高さを目線で体感しました。キャ

ンプ場のトイレや炊事場はそのまま保存され、津波被害のすさまじさを感じました。



気仙沼市で

＝震災遺構トイレ＝

は「伝承館」と327人と犬2匹の命を救った「高野会館」、陸前高田市では「奇跡の一本松」、南三陸町では高田松



＝奇跡の一本松＝

原津波復興記念公園、国営追悼記念施設を見て回りました。

津波前は風光明媚な海岸線が続くのどかな海辺の町が、巨大なコンクリートで出来た防潮堤があちこちに建設され、その内側の小高い丘には新築の一戸建てが目立ち、風景が一変しているように思いました。町には人が少なくまだまだ活気と賑わいが戻っていないような気がしました。

南三陸町記念公園内にある仮設店舗では、海産物やおみやげ物などを販売していました。ちょうどお昼時で購入した「にぎり寿司弁当」の新鮮な魚貝類の味は忘れられないものでした。

また、旅行中20日の午後6時過ぎに釜石のホテル滞在中、震度5弱の地震に遭遇しました。丁度ホテルの



＝木に引っかかった漁具＝

ロビーに居り、強い揺れに足は立ちすくみ動けず地震の恐怖を体感しました。大きな被害もなかったのが幸いです。大震災から10年経ちましたが、元に戻るのにはまだまだ時間が必要なのだと痛感しました。

(尼子)

※ 3月20日に古田会長の「ベトナムの今を知る—ベトナムの魅力と今後の課題—」がありました。使われた資料を何点かお伝えします。このオンライン講演会の共催団体であるAALA連帯委員会のホームページから視聴することができますので、関心のある方はアクセスしてください（編集部）。

コロナ抑止の成功

- 共産党一党支配のためとするのは一面的
- 民衆レベルの危機感
- 「北方からの脅威」への歴史的体験
- 「戦争を経験した世代」がいる国
- 共産党・政府の対応
- 中国の公式発表を信用せず 早期から高い警戒
- 機敏な対応と情報公開で、民衆の信頼を獲得

過去を閉ざし未来を志向する

- 20世紀にベトナムに軍隊を入れた国
- フランス
- 日本
- 英国、中華民国
- 米国、韓国、フィリピン、タイ、オーストラリア、ニュージーランド
- 中華人民共和国、カンボジア
- これらの国々との関係改善なくして経済発展不可能
- 1990年代前半に関係正常化
- 「歴史の知恵」で国民的支持

ベトナム人の気質と共産党

- ベトナム人氣質 柔軟、臨機応変、大雑把
 - 共産党 世界的には集権的、上意下達の政治組織
 - ベトナム共産党「下からのイニシアティブ」がとおる組織
 - 一旦、上級が決定しても、下々がざわめくと、決定が見直される柔軟性
- 「竹の国」の共産党

ベトナムの直面する問題

- 勝手な人々、勝手な地方をまとめあげて国民的発展に結実できるか？
ベトナム戦争の記憶を乗り越えて、海外在住者も含め広範な人材結集ができるか？
安い労働力と豊富な資源に依拠した経済発展から付加価値の高い産品を生み出す経済発展への転換を完遂できるか
先進国入り・・・ベトナムの掲げる「社会主義志向市場経済」が、説得力のある社会モデルを現実に形成できるか？（第三世界版社会民主主義の可能性）

【事務局だより】

○先にお願ひしていたことですが、図書整理を始めました。古崎さんがエクセルで書籍一覧作成していただきました。会員各自のお持ちの書籍も一括で管理できればいいと思います。書籍を登録していただけたらと思いますのでよろしくお願ひします。断捨離を進めておられる方には、書籍の処理にお困りではありませんか。ベトナムに関する本の情報をお待ちしています。

○フン王の記念祝日は旧暦の3月10日で今年は4月21になります。コロナ禍の中日本国内での催しはないのかもしれませんが。

○4月から電話の転送を始めました。事務所への固定電話(06-6768-4868)は携帯電話へ転送されます。これにより事務所に詰める担当はいなくなります。この代わりFAXの利用が難しくなっています。書類の送付は、PCでのメールで送っていただくようお願ひします。毎金曜日の午後は事務所に待機することにします。

○3月2日から4月1日までの間の会費納入者は上岡眞、小豆島正典、岩田行平、伊東節郎（敬称略、太字は新入会員）のみなさんでした。

○4/1現在の現金預金残高は566,118円です。昨年からの当番の交通費は未払いとなっています。会費の先払いにご協力をお願いします。（事務局長 山本）

《これまで》

- 3月14日（日） 第52回府連総会（20名）
- 20日（土・休） 古田会長講演会（オンライン）
- 25日（木） 事務所電話の携帯への転送開始
- 4月2日（金） 4月度拡大常任理事会（9名）
総会で議長をされていた古崎勉さんに府連の常任理事を引き受けてもらうことになりました。

4日（日） タケノコ掘り（6名+6名）

9日（金） 総領事館表敬訪問（10名）

《これから》

- 4月29日（木・休） 解放記念講演会（於 ドーンセンター）
- 5月1日（土） 芸人9条の会公演（東成区民センター）
- 7日（金） 5月度拡大常任理事会（於 オンライン）
- 16日（日） 第66回全国総会（於 京都市内）

※ 新型コロナ禍で予定が決まりません。メールにも注意して下さい。

